

平成 20 年度 第 4 回浦安市学校給食センター運営委員会会議の要旨

1. 開催日時 平成 20 年 10 月 29 日（水） 午後 3 時～午後 4 時 30 分
2. 開催場所 浦安市文化会館 3 階第 1 会議室
3. 出席者
（委員） 藤井会長、鈴木篤見委員、高橋委員、寛田委員、竹田委員
蕪崎委員、田村委員、保谷委員、
（事務局） 柏木教育総務部次長、本田副参事、木村給食センター所長、
宇田川副主幹、大塚副主査（保健体育安全課）春田主任主事、
深美栄養士、米田栄養士
4. 会議次第
 - （1）学校給食費の額の改定答申案について
 - （2）（仮称）浦安市千鳥学校給食センター第三調理場整備運営事業について
 - （3）その他

○会議次第（1）学校給食費の額の改定答申案について

学校給食費の額の改定について、「浦安市学校給食センター運営委員会答申案」として決定した内容の説明をした。特に意見等はなく、答申案について承認を得た。

（第 1 回～ 3 回の会議において審議、検討した結果に基づく改定理由及び、会議経過も含めての説明）

○会議次第（2）（仮称）浦安市千鳥学校給食センター第三調理場整備運営事業について

第 2 回運営委員会（9/10 開催）において、現在の千鳥学校給食センターの敷地内に中学校給食の提供を PFI 手法で実施する「第三調理場整備事業」に関して、中学校全保護者を対象に行ったアンケート集計結果について担当課より説明をした。（担当課：保健体育安全課）
＜アンケート集計結果についての主な質疑の要旨＞

A. はし（箸）の導入に関するアンケート結果について

事務局：集計結果を見ると、現行のまま持参でよいが 64.2%、給食センターで用意が 35.8% である。この結果から、箸は給食センターで用意しなくてもよいという事で、箸の導入はやめる方向で考えている。箸をセンターで用意してほしいという要望は先生方からの意見が多い。

委員：現在、指導の上で一番難しいのは給食指導と清掃指導である。食べ物に対する感覚がなく食べ物をおもちゃにしたり早食い大食いなどの風潮もあるので、食べ物を大事にしていない。給食指導の中でも配膳より片付けである。箸の扱いは先生方にとって重労働であり、指導する側にとっては大問題である。生徒は困ってはいない。自分で割り箸を用意し忘れた生徒は貸し合っている。が、その結果、大

量のゴミとなる。これも問題となっている。今回の回答結果は生徒の部分を反映しているとは思えない。生徒の困り加減とは別に是非箸を用意してほしい。

会 長：箸を用意することによって給食指導が充実するということか。

委 員：現行のままでよい。箸を持っていく日を献立表で確認できるし、親子の会話になる。入船中では H18 年度から学校予算でプラスチックの「貸し箸」を用意している。それまでは割り箸を使用していたが後始末に困ることと、帰りがけに他の家の花壇に刺したりして問題になった。「貸し箸」は各学年の先生が忘れた生徒数をチェックする。(日々の集計をお昼の放送で流す) 管理は各学年の先生でしっかり洗って用意しておく。

委 員：現行のままでよい。子供が自分で洗って自分で持っていつている。富岡中の学年の報告では、学年で用意して貸し出している。はしの管理はわからない。

委 員：センターで用意がよい。現在、回りのみんなが割り箸なので割り箸を使っている。

委 員：自分が忘れた時のために予備をランドセルに入れている。割り箸のゴミの処理までは考えていなかった。美浜南小学校の給食指導は徹底している。小学校では出来ているのに、中学校になるとなぜできなくなるのか・・・。

委 員：箸は毎日持っていつている。忘れた時は先生が貸してくれた。

委 員：最近箸を忘れる児童は減ってきたので定着してきたのだと思う。最初は学校で割り箸を買っていたが今は買っていない。ただ、担任が用意しているクラスもあり、クラスによってまちまちである。(日の出小学校)

事務局：他市の状況を確認した結果は、自校式は学校で用意し、センター方式は自分で用意しているところが多い傾向にある。割り箸の件は論点が違うと思う。環境問題の議論であり、箸を忘れないようにするのは指導の問題であると思う。
親子のコミュニケーション等を優先的に考え、現行どおり、箸は持参の方向がよいとの見方をしている。

B. 使用する食器の材質について (飯碗・汁碗・皿及びトレイ)

事務局：現在、小学校給食では 3 種類 (飯碗・汁碗・皿) の食器を使用しており、材質については 3 種類のうち、飯碗・汁碗は強化磁器食器で、皿についてはメラミン食器を使用している。これは、千鳥センター開所前に小学校全保護者に実施したアンケート調査結果を基に決定したものである。(より家庭で使用している食器に近いもの、但し、小学校全学年 (1~6 年) 同じ食器を使用するため 3 種類とも強化磁器だと重さがあるため皿だけはメラミン食器としたものである)

中学校給食については、3 種類とも強化磁器の使用を予定している。

また、トレイの材質については、現在小学校で使用しているものは再生が出来ないため、中学校給食では再生可能な PEN 樹脂製の使用を考えている。

※実際に食器及びトレイの実物を見ていただきながら説明をした。

C. 食物アレルギー対応給食実施の基本的考え方について

事務局：現在、小学校給食で実施している食物アレルギー対応食を中学校給食でも提供する予定であり、内容について提供案の説明をした。

B、C 及び他の項目についての質疑は特になかった。

○会議次第（3）その他は特になし

D. 会議のとりまとめ（会長）の要旨

学校給食費の額の改定答申案については、委員の皆様の承認をいただいたので（案）がなくなり「平成 21 年度の給食費の額の改定について（答申）」ということで教育委員会に提出する。皆様のご協力に改めて感謝したい。また、本日説明のあった「仮称千鳥学校給食センター第三調理場整備運営事業」については、現在検討段階であり今後も委員の皆様の意見を聞きながら進めていきたい。